



葉山町

議会だより

No.
132
2018.4.21



平成30年度予算 … 2
予算の注目点 … 7
定例会報告 … 9
一般質問は12人が登壇 … 16



葉山町議会 検索

写真：葉山にこここ保育園卒園式

整備事業費をカット

71,143,000円

30年度の 新たな取り組み

小児医療費助成事業
1億315万円

医療費の自己負担分を助成（中学校卒業まで所得制限なし。平成30年12月より拡大）

在宅高齢者福祉サービス事業
520万円

京急バスのふれあいバス購入費の助成（70歳以上）



消防車両整備事業
4097万円

高規格救急自動車を購入

町費職員等配置事業
1427万円

小中連携により中1ギヤップ等の解消及び、英語教育の充実

包括的支援事業・任意事業

● 地域包括支援センターを1カ所増設等

3489万円

● 生活支援体制整備事業委託
1274万円

一般介護予防事業
869万円

貯筋運動（ポイント制導入）や元氣はつらつ・水中歩行・認知症予防等各教室を実施など介護予防の推進

葉山の魅力創生・発信事業
600万円

「葉山の魅力を高める実行委員会」補助金



里山プロジェクトジオラマ

鳥獣保護管理対策事業
530万円

鳥獣の適正な保護管理、イノシシ等被害防止や野生動物の保護



合併処理浄化槽補助事業
4217万円

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止のための補助金

廃棄物資源化・処分事業
7476万円

広域連携に伴う逗子市での可燃ごみ焼却処理に伴う負担金

クリーンセンター再整備事業
3122万円

老朽化した既存施設を解体し、再整備計画策定支援及びクリーンセンター敷地測量の業務委託

草津町親善交流事業
100万円

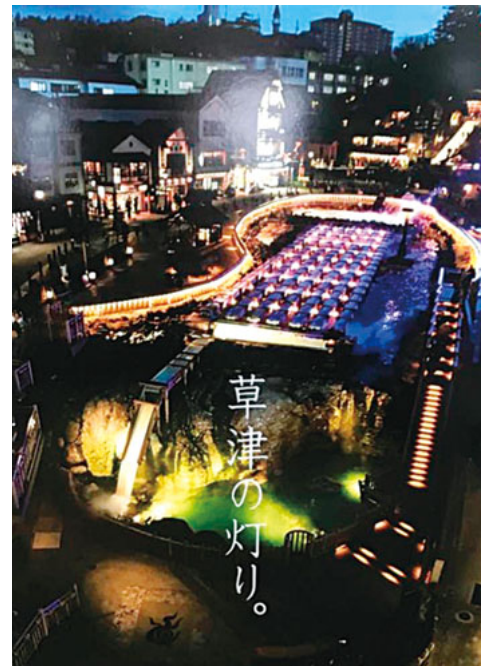
宿泊費の助成や姉妹都市締結50周年に向けた取り組みの推進

国際交流事業費
107万円

英語版ガイドマップ作成

図書館サービス推進事業
742万円

Wi・Fi環境の整備や利用者専用端末の機能更新、返却用ポストの増設

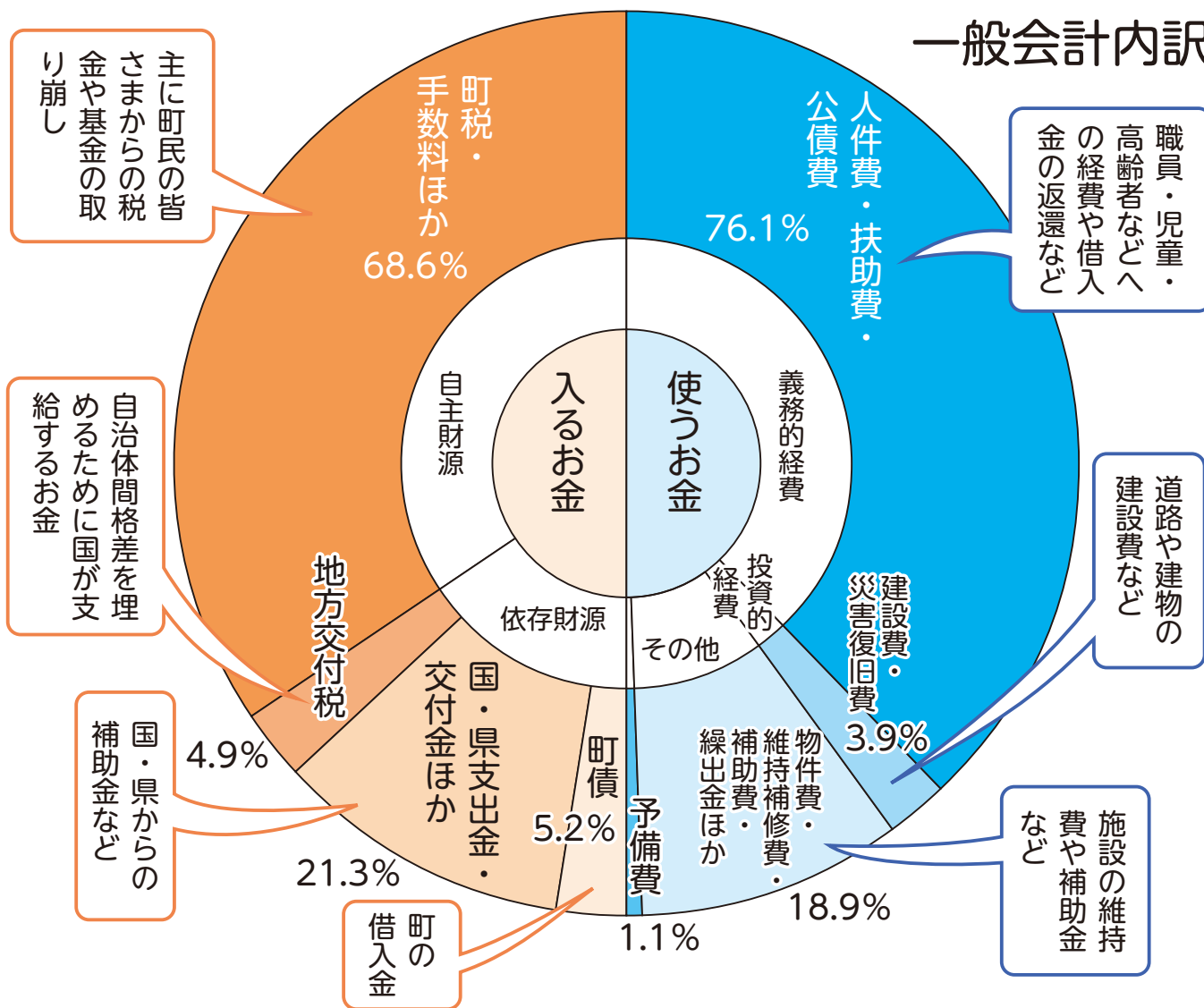


平成30年度
予算

学校給食センター

平成30年度一般会計96億7500万円（前年比プラス2.0%）

一般会計内訳



各会計予算規模

(単位：千円)

下水道事業については、平成30年4月から地方公営企業法の財務規定等を適用して、企業会計へ移行しました。そのため予算額の比較では10億円近くの増額となっておりますが、これまで取得した資産（下水道管・機械等）の減価償却費などを計上したためです。

会計名	30年度予算額	29年度予算額	比較増減	増減率 (%)	
特別会計	国民健康保険	3,681,145	4,121,732	△440,587	△10.7
	後期高齢者医療	997,621	945,509	52,112	5.5
	介護保険	2,899,149	2,828,972	70,177	2.5
	下水道事業	-	1,423,208	皆減	皆減
下水道事業会計	2,400,620	-	皆増	皆増	
合計	9,978,535	9,319,421	659,114	7.1	

予算審議総括質問

9人が質問しました

こんな点が気がかり

質問者の原稿を基に作成しています

財政について

飯山 複数の大規模事業

でも財政は持つのか、と

の不安が町民にあるが、

提供された財政推計では

その不安は払拭されてい

ない。当方が作成した試

算で中期的影響を検証し

たが、推計では今後10年

で約10億円の財源不足と

なる。財政調整基金取り

崩しと、事業見直しで対

応すると推察されるが、

平成30年度予算には既に

給食センター建設関連が

出ている。具体的数値計

画がない中で予算を認め

るのは困難だが。

部長 事業整備後のスケ

ールメモリット等含めた中

期財政計画の推計を3月

末頃には提示したい。

飯山 大規模事業の財源

として一般財源が予定さ

れている。事業の選抜淘

汰を意味するが、何を削

るのか等の考えは。

部長 当然見直しを図る

などして財政計画の推計

を立てていく。

石岡 大規模事業にかか

わる財政推計が出された

中で、町の財政状況も大

きな変動期を迎えること

になる。プライマリーバ

ランスを維持しながらの、

行政サービスや公共の福

祉を向上させるための意

気込みは。

町長 就任当初から変わ

らずプライマリーバラン

スの維持には拘っている

し、多くの職員の協力を

得ながら、引き続き頑張

っていききたい。

施政方針について

石岡 町長施政方針の中

に「静かな改革と」ある

が、任期最後となる一年

は、積極的に攻めてみて

は。

町長 余りとがらず皆さ

まの意見を伺う中で、こ

こだという所に力を注ぐ

考えであり、いたずらに

何かの危機感を煽ったり、

大胆な改革で町の方向性

を変えていく意義も見出

せていない。引き続き、

町民を心配させない町政

を着実に運営していきたい。

下水道事業

待寺 下水道事業会計が

発生主義の、地方公営企

業会計に移行した効果は。

部長 損益計算書や貸借

対照表などの財務諸表で、

運営状況が分かり易く、

また管渠などの管理も耐

用年数を注視しながら、

新しく敷設する時期など

細かく把握できることだ。

金崎 下山口地区管渠整

備に5年間で12億円だが、

部長 平成34年度までに

設計整備を終えたい。

介護保険事業

待寺 地域包括支援セン

ター新規増設の見込みは。

部長 予算認定後に公募

を行う。4月の広報で第

7期の説明を含め掲載す

る。

待寺 2億円を超える基

金がある。保険料引き下

げの改定をすべきだが。

町長 小地域福祉活動を

手厚くしていくための資

金として活用する。

健康づくり支援

金崎 貯筋運動のポイン

ト制導入とは。

部長 貯筋通帳の数字で

はやまカードを贈呈する。

鈴木 今後、他の運動へ

のポイント制導入の考え

は。

町長 他でも拡大したい。

計画について

待寺 当初予算編成の段

階で、平成30年度開始の

実施計画が示されるべき。

議会は唯々諾々と予算審

査に応じられない状況だ

が。

部長 中期財政計画に基

づいた考え方も議論して

いて「はじめに」から「結

び」まで冊子にまとまら

ず、大変遅れている。

子育て支援策

金崎 町立保育園の安全

対策は。

部長 看護師等のアルバ

イト賃金を増額している。

窪田 就学援助入学準備

金が中学入学前の3月に

支給されるようになった

が、小学校への対応は。

部長 町の要綱では未就

学児童は対象ではない。

県内の動向を研究したい。

消防団運営

金崎 消防団員の出動手

当の改善は。

町長 災害出動に関して

は人数の上限を設けない。

学校給食センター

金崎 センター方式が自

校方式13億円よりも安価

にできると説明をしてい

た。20億円が見込まれて

いるセンター方式にする

理由を説明していないが。

部長 予算委員会で説明

したい。

畑中 学校給食の計画が

始まってから、内容が大

きく変容した。今一度立

ち止まって、給食センタ

ーのあり方、今の所で良

いのか、これだけのお金

の掛け方で良いのか、議

論の場に戻してもよいの

ではないかと考える。50

年のさらに先も考えるべ

きではないかと思う。災

害時などには大きなセン

サ

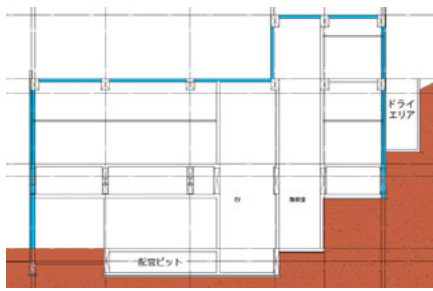


消防団

ターより、個別の方が利用しやすい。建て替え時期が来た時には、敷地からやり直しとなる。計画を練り直す勇氣と覚悟を持ってもらいたい。

教育長 全面的な見直しはしない。給食に関わる問題は今後、益々大きくなっていくと考えるので、5年後も対応できる余力のある給食施設であるべきと考える。

近藤 給食センター設計業務委託料7100万円について、葉山中学校斜面地に建設予定で、半地下式とし、建物で土留めを行うため、鉄筋コンクリート造りとなり19億円



給食センター計画断面図

からの費用がかかることが発表されている。町が発表した資料を基に試算すると、新たに用地を取得して、当初計画のように鉄骨造りにすると、6億5000万円安価になる。

部長 恒久性を考慮して建設調査を行った。

近藤 委員会の議論で新たな土地を取得した場合の検討は行われていない。**部長** 新たな土地の取得について答弁できない。このまま進めたい。

衛生費

金崎 ごみの共同処理に伴い逗子市への負担金7476万円は何年続のか。**部長** 6年間だ。

金崎 合併浄化槽の転換促進に見込まれる合計額は。**部長** 大体4億円だ。

医療費助成

鈴木 私は中学生までの医療費無料を平成3年からずっと訴えてきた。義

務教育世代への教育のあり方、健康に対するガードという観点から何うが、中学3年までの小児医療費無料化はなぜ4月から実施ができないのか。

町長 システム改修の時期やリスクを考慮し診療報酬支払い外部機関、医療機関との協議で12月診療分からの対象とした。

窪田 システム変更があり12月からになる小児医療費助成拡充分を、償還払い等で前倒しできないか。

部長 二重投資になるため、変更に合わせてい

子育て支援

鈴木 産後ケアの施設は

部長 受診機関と連携が取れれば対象となる。**畑中** 待機児童対策で新規保育園の設置とあるが

部長 今、ご相談が数件あり、できる方向に方策を考えていきたいが、具体的にはまだない。

学校教育

鈴木 長柄小トイレは早急に対処すべきだがどうか。

部長 臭気対策と調査予算を計上している。

鈴木 子どもたちが身につけるべき資質、能力は何か。

教育長 思考力、判断力、表現力と課題に向かう学ぶ意欲や、社会に出て行く意欲の力だ。

姉妹都市交流

土佐 平成30年3月より13カ月間、姉妹都市草津町への宿泊助成が1泊3千円に拡充されることを評価したい。草津町を応援するため、さらに2泊に拡充できないか。

町長 まずは1泊を拡充することを周知徹底し、1人でも多くの町民に草津町へと行ってほしい。

土佐 草津町との姉妹都市締結50周年記念の看板はどこに設置するのか。

部長 役場庁舎や図書館、HAYAMA STATION



歳入について

窪田 使途指定のふるさと納税があり事業の前倒しができた。その分を更に前倒して行うべきでは

部長 予算策定の最終段階にできてきた話で、再度盛り込めなかった。

部長 人数を制限しない方向で進めている。

土佐 50周年記念に葉山草津間のクラシックカーレースなどできないか。**町長** 可能性があれば応援したい。

産業振興

窪田 民泊事業を「住環境を共に守る事業推進」というが、ごみ・騒音等近隣は迷惑している。

町民のためになるのか。**部長** 県の状況・情報を得、取り組んでいきたい。

国民健康保険事業

近藤 町長の過去の答弁に国民健康保険料について「払えない人からもきっちりいただきます」と言っているが。

町長 なぜこんな答弁なのか反省している。社会保障の面も十分考える。

予算特別委員会審査報告

予算特別委員会を設置し、横山すみ子委員長、飯山直樹副委員長、山田由美、近藤昇一、畑中由喜子、笠原俊一の各委員が2月21日から7日間審査を行いました。最終日には町長・教育長に出席を求め質問を行いました。

町長・教育長質問

生活再建のための収納体制について

問 専門部局を設けるべきでは。

答 葉山の規模では案件があれば各課で声掛けができると考え、一元化して情報の集約を行う規模に値しないと考える。

問 徴収業務は、臨時雇用職員ではなく町職員が行うべきでは。

答 地域に根差した方が、縁側外交のように回ることで、成果を上げている。

施設予約システムの活用について

問 枠がまだあり、学校施設等に活用できないか。

が要請より多くなった場合でも、手当は支給されているか。

答 請求があったものは支払っている。

問 3カ年の被服更新を一括購入する考えは。

答 消防費は、分割できるものは分割するという意識があり、操法大会出場する分団から揃えたい。

南郷ヒルクライム再開のための条件について

問 町は自転車競技が盛んになるようなまちづくりを行うのか。

答 休止に至った総括を行い、体育競技としていろいろな方が参加できるように形にしたい。

消防職員・団員について

問 消防職員充足率61・1%にはなったが、まだ国の指針からかけ離れているが。

答 現体制で着実な運用を図り、研修等消防力の強化を図っていきたい。

問 消防団員の訓練出勤

参加を促す依頼をしたい。

町内会、他団体にも

姉妹都市交流について

問 交流パスポートは草津の厚意に甘える形であり、再考を。

答 草津商工会に費用対効果を確認し判断したい。

問 国際交流の観点からも、ホールドファストベ

イ市との現状が他都市との妨げになっていないか。

答 書面のやり取りも盛り上がりにかけている。時期を見て判断したい。

町有地について

問 長者ヶ崎町有地の不法占用は、立ち退き交渉を重ねても解決をみていないが。

答 顧問弁護士に相談したが、強制撤去は難しく使用損害金の支払いを維持しているのが現状だ。

問 町有地にある墓地は、自主運営等適正な管理が必要では。

答 法的に非常に難しい問題であるが、管理組合と話をしていきたい。

各種計画について

問 予算編成に間に合わない実施計画は、策定時期がずれているのでは。

答 見直していきたい。

問 教育施設の修繕計画は学校施設に特化したプランが必要では。

答 具体的な修繕は、総合計画との絡みがあり協議が必要だ。

小児医療助成事業拡大の実施時期について

問 実施時期の前倒しは、システム改修の二重投資と、ミスリスクを避けたい。1カ月でも早くできないか協議したい。

答 基本的には長寿命化を図るのが原則だ。地域結合の核でもあり、施設問題だけで議論できない。

問 学校給食センターについて

問 今後の児童数減少を、計画にどう反映するのか。

答 永久的に減り続けるわけで、現在の需要数を満たす施設としたい。

問 町有地以外を調査し、精査の必要があるのでは。

答 検討作業レベルでの可能性は議論したが、検討はできる。

問 比較調査が終わるまで、給食センター整備事業費予算凍結の考えは。

答 土地の調査には時間がかからないと考える。

問 これまでも職員だけで行い不備があった。業者に頼むべきでは。

答 可能性の調査を行い、深掘りする必要がある。時間と予算をかけて行う。

国民健康保険短期証発行に関する考え方について

問 現状、短期証期限切れの方もいるが。

答 発行手続きが相談の

機会と考えているが、期限切れの方への訪問は行っていない。

徴収には行くのだから、保険証を届けながら納付相談を行うべきでは。

答 再度議論したい。

学校給食センターについて

問 今後の児童数減少を、計画にどう反映するのか。

答 永久的に減り続けるわけで、現在の需要数を満たす施設としたい。

問 町有地以外を調査し、精査の必要があるのでは。

答 検討作業レベルでの可能性は議論したが、検討はできる。

問 比較調査が終わるまで、給食センター整備事業費予算凍結の考えは。

答 土地の調査には時間がかからないと考える。

問 これまでも職員だけで行い不備があった。業者に頼むべきでは。

答 可能性の調査を行い、深掘りする必要がある。時間と予算をかけて行う。

国民健康保険短期証発行に関する考え方について

問 現状、短期証期限切れの方もいるが。

答 発行手続きが相談の

機会と考えているが、期限切れの方への訪問は行っていない。

徴収には行くのだから、保険証を届けながら納付相談を行うべきでは。



平成30年度予算の注目点!



一般会計予算について、学校給食センター整備事業費7114万3千円を減額した修正案が近藤昇一委員ほか5人から出されました。

提案説明

葉山中学校の斜面地に学校給食センターを建設するため、平成30年度予算に学校給食センター整備事業として7114万3千円が計上されたが、他の建設候補地の模索や比較検討がなされておらず、事業そのものが未成熟だということがあきらかになった。このため、町長及び教育長に、当該事業に係る予算を凍結あるいは撤回するよう求めたが、明確な答弁は得られなかった。よって、学校給食センター整備事業の再検討を求めるため、当該事業に係る予算を減額することを提案する。

委員会審査

一般会計修正案については、全会一致で可決しました。

本会議での討論

修正案に賛成

- 財政に大きな影響のある大規模事業であり、調査のやり残しがあつてはならない。
- 町有地にこだわり多大な建設費用に違和感を持っていないことに驚く。
- 自校方式より安価との説明に矛盾する。
- 当初計画から大きく変貌しており、一度立ち止まって計画を見直すべき。
- さまざまな機能を併設した総合食育センター機能が全くない。
- 基本構想から基本計画など、正しい手順で進められていない。
- 代替地での検証など教育委員会が行うべきことが行われていない。
- 既存の給食室を修繕して対応する長寿命化こそ基本方針と一致する。

修正案に反対

- 平成29年第3回定例会で学校給食センター整備事業の補正予算を可決している。
- 多くの町民の意思を無視している。
- 小学校給食施設の老朽化で大規模改修や建て替えが必要な時期がきており、これ以上稼働時期が遅れるとお金と時間の無駄になる。
- 民有地を利用したセンター建設にコストメリットは感じられない。

本会議での採決

修正案は賛成多数で可決しました。



審査結果

修正議決された部分を除く原案と3特別会計は賛成多数で、下水道事業会計は可否同数となり、委員長裁決により原案のとおり可決しました。

指摘

- ① 未改修の町立学校トイレについて早急に改善すべきである。
- ② 景観について町として目指すべき方向を示すべきである。
- ③ 主な公共施設の修繕計画については専門家による調査を行い、一括管理できる体制をとるべきである。

要望

- ① 安定ヨウ素剤の町民への配布と使用方法について周知を徹底されたい。
- ② 中学校生徒バス通学費助成の補助率を引き上げられたい。
- ③ 街路整備について、神奈川県都市計画街路事業

促進協議会へ積極的に働きかけをされたい。

- ④ 町民が海を楽しめる方策を講じられたい。
- ⑤ 住宅リフォーム資金助成事業について所要額を確保されたい。
- ⑥ 特定健康診査の受診率向上に努められたい。
- ⑦ 町税等の収納対策については生活再建の視点で取り組まれたい。
- ⑧ 消防団員の被服については一括購入されたい。
- ⑨ 葉山の魅力を高める実行委員会については透明性を高め、地域との連携に配慮されたい。
- ⑩ 小児医療助成事業拡大分については、可能な限り早期の実施と町民への周知を十分に図られたい。
- ⑪ 消防団員の出勤手当の支給基準について明確にされたい。

意見

- ① 福祉文化会館使用料の適正な負担のあり方について検討すること。

本会議における平成30年度の予算審議結果

主な討論内容

賛成

一般会計 修正部分を除く

- ・ヒルクライム中止は残念。児童の交通安全啓発には引き続き努めてほしい。
- ・安定ヨウ素剤を全町民分用意することで安心できる。
- ・消防職員と団員の充足率が100%になるよう努力してほしい。
- ・長柄下会館の家賃削減を評価する。
- ・津波避難経路誘導灯・道路面シートの修繕を急いでほしい。
- ・健康増進施設利用券の使い勝手がよくなった。
- ・小児医療費助成を中学生まで所得制限なしで拡充することを評価する。
- ・子どもから高齢者まで、町民に寄り添った予算であり高く評価する。
- ・草津町の宿泊助成増額を評価する。
- ・京急バスのふれあいパス購入助成は高齢者の外出促進につながる。
- ・ペット共生事業のより拡大を望む。
- ・海岸電柱の早急な撤去に努力すべき。
- ・学校トイレの早急な改善を。

国民健康保険特別会計

- ・保険料増額にならないよう、引き続き努力してほしい。
- ・不公平感を抱かれない運営を期待する。

後期高齢者医療特別会計

- ・歳入歳出の均衡がとれる運営に期待する。

介護保険特別会計

- ・貯筋運動ポイント制導入は興味深い。
- ・地域包括支援センター増設でケアの推進を。

下水道事業会計

- ・整備地域の方々に接続のご理解をいただけるよう努力をしてほしい。

反対

国民健康保険特別会計

- ・基金の枯渇により保険料値上げの懸念がある。
- ・短期証期限切れ後の対応が不十分。電話連絡だけではなく、家庭訪問まで行うべき。
- ・県への移管は医療費削減であり、以前の状態に戻すべき。

後期高齢者医療特別会計

- ・高齢者増加に伴い被保険者の保険料が上がり、生活が成り立たなくなる恐れがある。

介護保険特別会計

- ・地域密着型特別養護老人ホームの新設が第7期計画に継続しなかったことは、期待を裏切るものである。

下水道事業会計

- ・人口減少時代にインフラを拡大すべきではない。
- ・整備しても接続していただかなければ意味がない。
- ・1カ所集中型より分散処理型の方が安全性が高い。
- ・下水道事業の公共性を鑑み、企業会計はそぐわない。
- ・5千万円以上の契約等が議決不要となり、議会のチェック機能を狭める。

- ・10年概成に向けて、確実な整備の実施を。
- ・経営の自主性を求める動向にあって、整合性が取れた対応であり、詳しい業務状況説明書類の作成は大きな進展だ。

各会計別予算審議の結果

- ◎一般会計 修正案
修正以外の原案
- ◎国民健康保険特別会計
- ◎後期高齢者医療特別会計
- ◎介護保険特別会計
- ◎下水道事業会計

- 賛成多数
- 全会一致
- 賛成多数
- 賛成多数
- 賛成多数
- 賛成多数

可決

第1回 定例会

2月13日から3月16日まで開催。補正予算や議案などを審査しました。

平成29年度葉山町一般会計補正予算（第8号・第9号）

（1億7306万円）

歳入概要

● 町民税・個人

（1億3千万円）

● 町民税・法人

（4千万円）

当初見込みを上回るこ
とによる増額

● 小児医療費助成事業補

助金

（84万円）

当初見込みを上回るこ
とによる増額



● 物品売り払収入

（176万円）

塵芥車（1台）

軽ダンプ（2台）

● 一般寄付金

（854万円）

ふるさと納税制度を利
用した寄付金の増額

歳出概要

● 基金積立金

（2億円）

財政調整基金及び公共
公益施設整備基金への積
み立て

● 教育・保育給付支給事

業

（985万円）

入所児童委託料の加算
及び賃金単価の改定に伴
う保育給付費の増額等

● 小学校情報教育推進事

業

（52万円）

学校教育備品に用途指
定のあった寄付金を活用
し、普通教室のICT環

境整備のため情報教育機
器の購入

プロジェクト（8台）

プロジェクト用レシ
ーバー（8台）

● 中学校情報教育推進事

業

（39万円）

プロジェクト（6台）

プロジェクト用レシ
ーバー（6台）

主な質疑

問 寄付を基金に積み立
てるという考えはなかつ
たのか。

答 寄付者から学校教育
用の備品と指定されたの
で、積み立てるという考
えはなかった。

● 学校給食センター整備
事業（△4185万円）

業務の29年度執行が困
難なことによる減額

● 所有権移転登記手続等
請求調停申立事件の調停
成立に伴う経費

町が申し立てた葉山町
長柄字上ノ山の土地に係
る所有権移転登記手続き
等請求調停申立事件にお
いて調停が成立したこと
から、解決金及び成功報
酬の支払い

● 調停相手に支払う解決
金

（1億円）

● 代理人弁護士に支払う
成功報酬

（94万円）

● 風致地区内行為許可処
分取消請求事件の応訴に
伴う経費

（76万円）

提起された訴訟に応訴
するため、代理人弁護士
へ着手金の支払い

● 所有権移転登記手続請
求控訴事件・所有権確認
請求控訴事件の和解成立
に伴う経費

（80万円）

町が控訴した町道の一
部の土地に係る所有権移
転登記手続請求控訴事
件・所有権確認請求控訴
事件において和解が成立
したことから、代理人弁
護士へ成功報酬の支払い

● 今後このようなケー
スが出ないための方策は。
答 できる限り境界を画
定して位置を明確にして
いく努力は続ける。

● 所有権移転登記手続等
請求調停申立事件の調停
成立に伴う経費

町が申し立てた葉山町
長柄字上ノ山の土地に係
る所有権移転登記手続き
等請求調停申立事件にお
いて調停が成立したこと
から、解決金及び成功報
酬の支払い

● 調停相手に支払う解決
金

（1億円）

● 代理人弁護士に支払う
成功報酬

（94万円）

● 風致地区内行為許可処
分取消請求事件の応訴に
伴う経費

（76万円）

提起された訴訟に応訴
するため、代理人弁護士
へ着手金の支払い

● 今後このようなケー
スが出ないための方策は。
答 できる限り境界を画
定して位置を明確にして
いく努力は続ける。

● 所有権移転登記手続等
請求調停申立事件の調停
成立に伴う経費

町が申し立てた葉山町
長柄字上ノ山の土地に係
る所有権移転登記手続き
等請求調停申立事件にお
いて調停が成立したこと
から、解決金及び成功報
酬の支払い

● 調停相手に支払う解決
金

（1億円）

● 代理人弁護士に支払う
成功報酬

（94万円）

● 風致地区内行為許可処
分取消請求事件の応訴に
伴う経費

（76万円）

提起された訴訟に応訴
するため、代理人弁護士
へ着手金の支払い

29年度 歳入歳出予算の総額 (千円以下四捨五入)

会計名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	99億6502万円	1億7306万円	101億3808万円
国民健康保険	42億328万円	93万円	42億421万円
後期高齢者医療	9億9052万円	△837万円	9億8215万円
介護保険	29億9238万円	0円	29億9238万円
下水道事業	14億5158万円	0円	14億5158万円
小計	96億3776万円	△744万円	96億3032万円
合計	196億278万円	1億6562万円	197億6840万円

反対討論 (飯山・山田)

● 身を切る改革の立場か
ら反対する。

● 町民の納得が得られる
かどうか疑問。

● 賛成討論 (近藤・土佐)

● 人事院勧告に合わせて
スライドさせることに違
和感はない。

● 身を切る改革ならば、
政党交付金を廃止すべき。

● 反対する議員は増額分
を受領せずに供託すべき。

● 所有権移転登記手続等
請求調停申立事件の調停
成立に伴う経費

町が申し立てた葉山町
長柄字上ノ山の土地に係
る所有権移転登記手続き
等請求調停申立事件にお
いて調停が成立したこと
から、解決金及び成功報
酬の支払い

● 調停相手に支払う解決
金

（1億円）

● 代理人弁護士に支払う
成功報酬

（94万円）

● 風致地区内行為許可処
分取消請求事件の応訴に
伴う経費

（76万円）

提起された訴訟に応訴
するため、代理人弁護士
へ着手金の支払い

※これ以降は、教育民生
常任委員会で審査、本会
議で決定したものです。

**葉山町国民健康保険条例
の一部を改正する条例**

国民健康保険法施行令
の改正等に伴う所要の改
正を行うため

委員会審査結果

委員から「保険料の賦課方法の構成割合を、これまでの割合と同率で定めていること、保険料減額の判定に係る所得の上限額を緩和し低所得者対策を盛り込んでいること、また、国民健康保険の都道府県広域化に伴う改正であり賛成する」との意見でまとめ、全会一致で可決しました。

本会議反対討論（近藤）

国民健康保険は社会保険制度だ。命・健康・暮らしを守るため、低所得者の負担軽減を図るべきだ。

本会議賛成討論（待寺）

町独自の判断で低所得者対策など評価できる。引き続き低所得世帯や大家族世帯への配慮を。

葉山町介護保険条例の一部を改正する条例

平成30年度から新たな事業運営期間の始まりによる、第1号被保険者の保険料率の制定と、介護保険法改正に伴う改正

委員会審査結果

委員から「準備基金を取り崩すことで、次期介護保険料を現行と同額に抑えたものであり賛成する」との意見でまとめ、全会一致で可決しました。

葉山町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

介護保険法の改正により、居宅介護支援事業者の指定権限が市町村に委譲されたため

委員会審査結果

委員から「新たに条例制定をする必要があることから提案されたものであり、特に問題となる規定はないものと判断する。今後、居宅介護支援事業者が増加した場合は業務量が増えることが考えられ、議会としても注視していきたい」との意見でまとめ、全会一致で可決しました。

逗子市と葉山町との可燃ごみの焼却処理の事務委託に関する協議について

可燃ごみの焼却処理（焼却灰処理を含む）事務を逗子市に委託する規約の締結協議のため

規約には、委託事務の範囲、管理及び執行の方法、経費の負担、予算の計上、決算の場合の措置、経費の調整、連絡会議、条例等の制定又は改廃の場合の措置等が規定されることとなっています。

委員会審査結果

委員から「相互に利益のある規約であると判断する。職員間で頻繁に情報交換や連絡を行っていると説明もあつたが、今後、分別方法など現業職員も交え、さらなる協議を進められたい」との意見でまとめ、全会一致で可決しました。



搬出用新型トラック

葉山町と逗子市とのし尿及び浄化槽汚泥の処理の事務委託に関する協議について

し尿及び浄化槽汚泥の処理（収集及び運搬を除く）事務を逗子市から受託する規約の締結協議のため

範囲、管理及び執行の方法、経費の負担、予算の計上、決算の場合の措置、経費の調整、連絡会議、条例等の制定又は改廃の場合の措置等が規定されることとなっています。

委員会審査結果

委員から「協働の第一歩であり賛成する。職員間で頻繁に情報交換や連絡を行っており、さらに協議を進められたい」との意見でまとめ、全会一致で可決しました。

葉山町立学校給食に関する全面的見直しに関する陳情書

町は学校給食のセンター方式を打ち出しているが、比較検討等、十分な説明がない。ついては、学校給食実施に関して全面的な見直し、自校方式や親子方式との比較、経費や工事時期の十分な検討、経過の公開等を求めているものです。

委員会審査結果

「十分な比較検討は必要であり、趣旨は理解できる」として趣旨了承の意見と「町の将来を考えればセンター方式には賛成であり、全面的見直しは賛同できない」との意見に分かれ、採決の結果、賛成少数により不採択となりました。

本会議反対討論

（石岡・土佐・待寺・鈴木）
・より具体的に現実的な対案がないのに、全面的な見直しには到底賛同できない。
・町の将来を考えれば、センター方式に賛成だ。
・親子方式ではセンター方式よりデメリットが多いと判断する。
・各小学校施設老朽化に伴う、財政的な負担等を考慮すれば、センター方式が一番と考える。

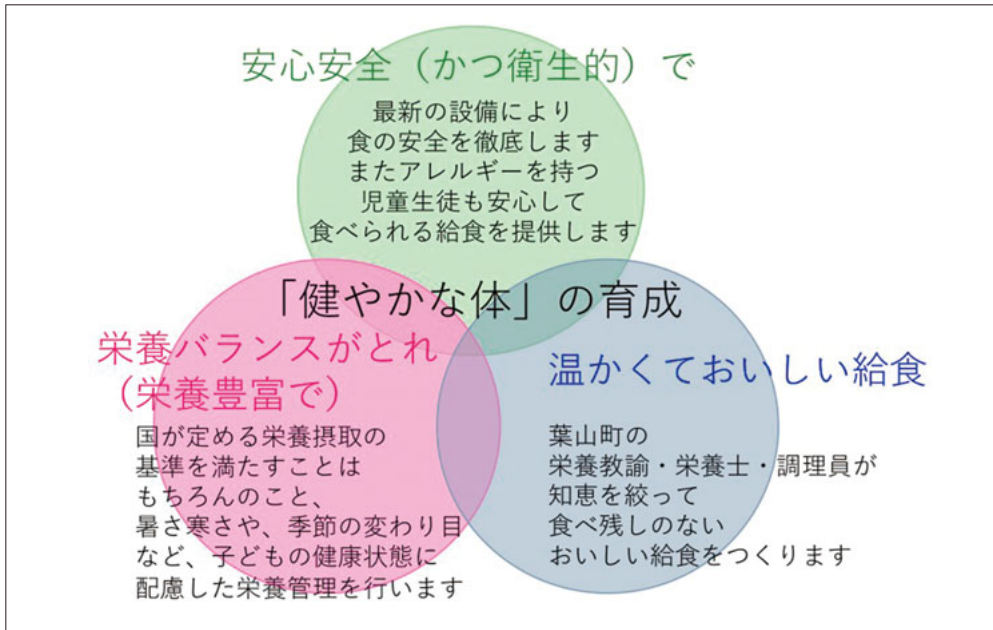


本会議賛成討論

(山田・近藤・畑中・横山)

・比較検討や時期の心配、十分な説明との要望も、もつともだ。

・この計画では安全管理面や財政上の問題など、将来に禍根を残すことになる。
・なぜ葉山中学校敷地なのか、十分な説明が必要だ。



葉山町学校給食基本構想(改訂版)より抜粋

・町の説明不足で20億円もの巨大な公共事業に、現段階では納得がいかない。町民の納得も得るべきである。

葉山町立学校給食実施に向け、直営方式を求めるとともに、調理職員の待遇改善に関する陳情書

中学校給食実施に当たり、現在の小学校の給食調理職員の待遇改善に取り組み、正規職員による直営方式による実施、また、可能な限り自校方式、不可能な場合は親子・兄弟方式を追求することを求めているものです。

委員会審査結果

「町から、センター方式にしても直営で行うとの説明を受けている。自校方式など可能な限り追求を、という趣旨は理解できる」として趣旨了承を求める意見と「総合的に判断してセンター方式

には賛成であり、賛同することはできない」との意見に分かれ、採決の結果、賛成少数により不採択となりました。

本会議反対討論

(土佐・笠原・待寺)

・町直営で行うとの説明を受けている。センター方式の優位性を支持する。
・採択すると陳情者に誤解を与えるので反対する。
・理解できる内容だが、センター方式の優位性を判断材料とした。

本会議賛成討論

(山田・横山・近藤・畑中)

・職員の待遇改善は当然の要望だ。
・待遇改善に取り組むという趣旨を尊重した。

・子ども中心に考えた食育教育ができない。センター化する大義はない。

・直営方式の堅持と、調理給食職員の待遇改善は、非常に大切なことだ。

小学校給食の自校方式の存続と中学校給食の自校方式もしくは親子方式を求める陳情

「町ではセンター化に

向け斜面地を利用した給食施設を提示しているが、安全性や予算面でセンター方式が自校方式・親子方式と比べ有利とはいえない。また、他自治体の事例から自校方式・親子方式の面積問題は工夫が可能なことがわかってきた。については、
①小学校給食の自校方式を存続すること
②中学校給食は自校方式もしくは親子方式で行うことを求めているものです。

委員会審査結果

「多くの署名をいただいている陳情であり、願意は十分理解するが、検討すべき課題はあるものの、センター方式には賛成である」「センター方式を除外して考えること

本会議反対討論

(待寺・鈴木・横山)

・自校方式の存続には反対だ。様々な見識を持ち合わせて、センター建設計画を練り直すべきだ。
・安全性を担保したセンター方式に賛成である。
・センター方式も含め比較検討すべきだ。自校・親子に限定することには反対だ。

本会議賛成討論

(近藤・畑中)

・センター化に固執する理由を明確にすべきだ。
・署名人に対してはもとより、多くの納得を得るような説明をすべきだ。



委員会 レポート

総務建設

日本政府に核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書採択についての陳情

平成29年7月7日、国連会議において核兵器禁止条約が国連加盟国の6割を超える122カ国の賛同を得て採択されたが、唯一の戦争被爆国である日本は交渉に参加せず、署名も拒否した。よって国に対し、早期に核兵器禁止条約への署名及び批准を求める意見書の提出を求めているものです。

委員の総意として「日本は世界で唯一の被爆国であり、一日も早く核兵

器禁止条約に署名・批准し、核兵器のない世界の実現に向けて積極的な役割を果たすべきである」との意見でまとまり、採決の結果、全会一致で採択し、国に意見書を提出することとしました。

委員長 土佐洋子

教育民生

家庭教育支援法の制定を求める意見書提出に関する陳情

核家族化の進行や地域社会の絆の希薄化など家庭を巡る社会的な変化により、過保護・過干渉・放任など家庭教育力の低下が指摘されており、行



委員長 窪田美樹

政からのより積極的な家庭教育への応援体制が必要である。ついては、国に対し、家庭教育支援法の制定を求める意見書の提出を求めているものです。

委員から「地域の実情に応じ考えていく必要があり、法の介入には違和感がある」「法律を制定することが児童虐待等の社会問題解決に結びつくものなのか疑問である」との反対意見が大勢を占め、採決の結果、賛成なしにて不採択と決しました。

議会広報

町民との会議について初めての試みとしてワールドカフェ方式で行いました。当日の報告は23ページをご覧ください。

委員長 金崎ひさ



当日の様子

議会運営

- ・葉山町議会災害時行動マニュアルの一部改正
- ・新春の集いの報告
- ・議会改革について
- ①議会基本条例の変更に追加記述についての素案説明
- ②長期欠席に係る議員報酬の取り扱いについての参考資料配布
- ③欠席期間の考え方の参考資料配布

委員長 笠原俊一

視察報告

教育民生
常任委員会

平成30年1月25日～26日

1 長野県佐久市

世界最高健康都市構想に係る健康増進の取り組みについて

昭和20年に結核や伝染病、乳幼児の死亡が多い劣悪な衛生環境の改善・健康増進に奮闘する、保健師の姿を見た地域の主婦たちが、少しでも手伝

おうと自主的に活動を始め、保健補導員の前身が誕生しました。活動の中で「自分たちの健康を守るには、まず自分が学習することが大切だ」と、

自主的な学習の場として保健活動が始まったといわれているそうです。

(1) 佐久市保健補導員
基本的には2年任期で、年齢や性別の制限はなく20代から80代の市民が参加し延べ2万5千人が経

験者になっており「佐久市に住んでいれば保健補導員はやるものだ」という意識が芽生えているということでした。

市保健補導員会は、次のテーマで市全体の健康意識を高めることを目的としています。

①市が行う住民の健康生活推進のための保健事業に理解を深める

②自ら学び意識を高め家庭そして地域に広める

③保健補導員の経験者を地域に蓄積していく

なお、任期満了後も地域で活躍している市民が多いそうです。

(2) 新しい保健活動

①新しい保健の推進

これまでは壮年期以降を対象とした予防活動が中心だったものを、若年層にも重点を置き、保健活動の対象としていくこ

としました。

②食生活改善
推進員の活動

健康のまま

天寿を全うす
る意味の「ピ

ン・ピン・コ
ロリ」にあや

かり、ぴんころ運動推進
事業を展開しています。

ぴんころ御膳（カロリー

ー、塩分控えめ、地元食
材を使ったメニュー）を

開発し、市内の飲食店で
提供されているほか、家

庭でも作れるようレシピ
募集して料理コンテスト

を開催しています。

「生活改善推進協議会」

は、子どもから高齢者ま
での各世代の食育推進活

動の輪を広げ「さくさく
食育応援隊」は幼児期の

食育推進に、子育てサロ
ンや保育園で食育活動を

展開しています。学校給
食でもぴんころ食を取り

入れようとこの考えから、
年4回、ぴんぴんキラリ

食が提供されています。
保健指導員を養成する



佐久市のぴんころ地蔵



佐久市役所前にて

2 埼玉県久喜市

久喜宮代衛生組合の生

ごみ減容化処理システム
(HDMシステム)につ
いて

(1) HDMシステムとは

放線菌・糸状菌等微生
物が含まれる菌床に生ご

みを投入し、よく混合す
ることで効率よく生ごみ

の発酵分解が進むという、
新しい生ごみ減容化処理

メリット

・システムが単純で故障
が少ないため、ランニン

グコストを安価に抑える
ことができる。

・微生物の作用により、
他の堆肥化処理施設と比

較し、悪臭の発生抑制が
図れる。

・生ごみから出る汚れも
含めて処理できることか

ら、汚水処理するため
の施設が不要である。

デメリット

・生ごみ1ト当りの処理
に必要な母体（菌床）と

なる木材チップの容量が
多いため、建屋床面積が
相当必要となる。

・母体の攪拌を人為的に
行わなければならないた
め品質管理が難しい。

・温度や大気中の湿度な
どの条件によって臭気
が発生する場合があり、適
切な脱臭対策を施す必要
がある。

(2) 導入の経緯

新炉建設計画が周辺住
民の同意を得られなかつ

たため、検討委員会を設
け、審議を行い、

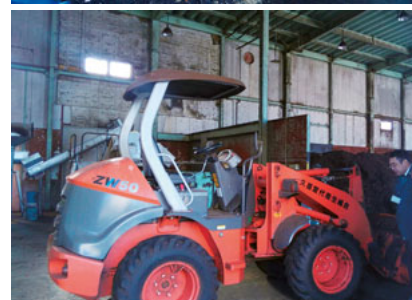
①できる限り燃やさない
②活かせるものは資源リ
サイクルする

③焼却炉は小さく
との答申を受け、生ごみ
堆肥化の実証試験を開始

した結果、実証プラント
での実施は多大な経費が
かかるなど、コスト削減

を含むさまざまな研究・
検討が必要ということが
明らかになりました。

新たな手法として生ご
み減容化及び堆肥化製造



生ごみ減容化処理システム(久喜市)

実験を開始した結果、生
ごみが24時間で90%以上

が減容化(分解)され、悪
臭の発生抑制、生成され

たものが土壌改良剤とし
て活用できることなどか

ら、HDMシステムに切
り替えました。

(3) 回収方法等

燃やせるごみ収集日に
集積所に燃やせるごみと

専用袋に入れた生ごみを
分けて出してもらい、別

に回収しています。なお、
日処理量を超えた生ごみ

が排出された場合は焼却
処理しています。

回収した生ごみは、破
袋分離機にかけ袋と生ご

みを分離し、母体である

菌床へ投入し、混合攪拌

し、微生物により分解さ
れます。なお、袋は焼却

処理されます。
生産された堆肥は、希

望者へ無料で配布してい
ます。処理方法に問題はな

いとしながらも、収集経費
がかさむ事や新焼却炉建

設により、施設は平成35
年で終了してしまいます。

葉山町ではキエーロの取
り組みが進んでいます。

生ごみの資源化は、良く
調査し、負担が少なく持

続可能な事業にするため
に、葉山独自の事業案を

構築していく必要がある
と思われました。

委員長 窪田美樹

平成30年 議会第1回定例会 表決結果

議案番号	議員氏名 (議席順) 議案・陳情	横山	金崎	鈴木	飯山	石岡	山田	近藤	窪田	畑中	待寺	笠原	土佐	伊東	結果	関連記事
		すみ子	ひさ	道子	直樹	実成	由美	昇一	美樹	喜子	真司	俊一	洋子	圭介		
議案50号	平成30年度葉山町一般会計予算 (上段/委員会修正案・下段/修正部分を除く原案)	○	○討論	○	○討論	×討論	○討論	○討論	○	○討論	○討論	○	×討論	-	可決	P 7
		○	○討論	○	○討論	○討論	○	○討論	○	○討論	○討論	○	○討論	-	可決	P 7
議案51号	平成30年度葉山町国民健康保険特別会計予算	○	○討論	○	○討論	○	○	×討論	×	×討論	○討論	○	○討論	-	可決	P 8
議案52号	平成30年度葉山町後期高齢者医療特別会計予算	○	○討論	○	○討論	○	○	×討論	×	×討論	○討論	○	○討論	-	可決	P 8
議案53号	平成30年度葉山町介護保険特別会計予算	○	○討論	○	○討論	○	○	×討論	×	×討論	○討論	○	○討論	-	可決	P 8
議案54号	平成30年度葉山町下水道事業会計予算	○	○討論	○	○討論	○	×討論	×討論	×	×討論	○討論	○	○討論	-	可決	P 8
議案60号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×討論	×	×	○討論	○	○	-	可決	P10
議会議案 30-1号	葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×討論	○	×討論	○討論	○	○	◎提案者	○	○討論	-	可決	P 9
陳情 29-9号	葉山町立学校給食に関わる全面的見直しに関する陳情書	○討論	○	×討論	×	×討論	○討論	○討論	○	○討論	×討論	×	×討論	×	不採択	P10
陳情 29-10号	葉山町立学校給食実施に向け、直営方式を求めるとともに、調理職員の待遇改善に関する陳情書	○討論	○	×	×	×	○討論	○討論	○	○討論	×討論	×討論	×討論	×	不採択	P11
陳情 29-14号	小学校給食の自校方式の存続と中学校給食の自校方式もしくは親子方式を求める陳情	×討論	×	×討論	×	×	×	○討論	○	○討論	×討論	×	×	-	不採択	P11
陳情 30-3号	日本政府に核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書採択についての陳情	○	○	○討論	○	○	○	○討論	○	○	○	○	○	-	採択	P12

※ (議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。)

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案46号	平成29年度葉山町一般会計補正予算（第8号）	可決	P9
議案47号	平成29年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	-
議案48号	平成29年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決	-
議案49号	平成29年度葉山町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	-
議案55号	葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案56号	葉山町一般職の職員の給与に関する条例及び葉山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案57号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案58号	葉山町手数料条例の一部を改正する条例	可決	-
議案59号	葉山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	-
議案61号	葉山町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案62号	葉山町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	P10
議案63号	葉山町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	可決	P10
議案64号	葉山町都市公園条例の一部を改正する条例	可決	-
議案65号	逗子市と葉山町との可燃ごみの焼却処理の事務委託に関する協議について	可決	P10
議案66号	葉山町と逗子市とのし尿及び浄化槽汚泥の処理の事務委託に関する協議について	可決	P10
議案67号	平成29年度葉山町一般会計補正予算（第9号）	可決	P9
議案68号	訴訟上の和解をすることについて	可決	P9
議案69号	調停の成立について	可決	P9
議案70号	教育長の任命について	同意	-
議案71号	教育委員会委員の任命について	同意	-
議会議案30-2号	核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	可決	P15
陳情30-2号	家庭教育支援法の制定を求める意見書提出に関する陳情	不採択	P12

**世界で唯一の被爆国・日本
全員賛成で国に意見書提出**

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

人類史上初めて広島・長崎に原子爆弾が投下され、72年を経て、核兵器禁止条約が国連会議において、国連加盟国の6割を超える122カ国の賛成で採択された。

同条約は、核兵器について国連憲章、国際人道法に反するものであると断罪するとともに、開発、実験、製造、取得、保有、使用だけでなく、核兵器による威嚇も禁止している。同時に、被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記され、被爆国、被害国の国民の切望にも応えるものとなっている。

広島・長崎の被爆者は、すさまじい被爆の体験を世界に向けて長年発信してきた。この活動がために多くの国の政府の代表者を動かし、核兵器禁止条約の採択に結実したものである。唯一の被爆国である日本政府が、同条約の署名を拒み続けていることは世界の流れに逆行するものである。

よって国においては、核兵器禁止条約に一日も早く署名・批准し、核兵器のない世界の実現へ積極的な役割を果たすよう強く要望する。

平成30年3月13日





	質問議員	掲載した質問事項
P 17	飯山直樹	○海辺の諸問題 ○町の景観 ○町内会の運営
	土佐洋子	○災害に強いまちづくり ○生涯スポーツ活動の推進 ○町有地などの利活用
P 18	鈴木道子	○子育て支援 ○町民の命を守る体制 ○自転車走行の安全策 ○通学路の安全策 ○胃がんリスク検診
	待寺真司	○運転免許返納 ○民泊の推進 ○待機児童対策 ○クリーンセンター
P 19	笠原俊一	○葉山流のおもてなし ○事業の指針
	近藤昇一	○長柄地域の諸問題
P 20	横山すみ子	○学校トイレの改修 ○公共施設等総合管理計画
	畑中由喜子	○ペットと共生 ○魅力創生・発信事業
P 21	石岡実成	○オリンピックに向けたPR ○学校教育 ○町の広報・PR ○景観計画
	山田由美	○下山口町道 ○森戸川擁壁 ○土地の寄贈 ○コミュニティバス ○補助金見直し
P 22	金崎ひさ	○葉山のごみ行政
	窪田美樹	○妊婦健康診査 ○放課後児童健全化育成事業 ○学校給食基本構想 ○就学援助事業 ○教育環境の整備

飯山直樹
都市経済部長 町で清掃する
海岸沿い飛砂の除去作業を県に要望すべき



海辺の諸問題

問 海岸沿いの真冬の飛砂被害がひどくなっている。鎌倉市の海岸では、海岸を管轄する神奈川県が『サンドリサイクル』事業として、砂の除去作業を行っている。当町としても同様の作業を要望として出すべきでは。

部長 町道部分に堆積した砂は県には依頼しない。全ての要望に対応できるわけではないが、近隣住民の方々にも協力いただきながら町で清掃する。

町の景観

問 無電柱化の推進について、法改正する動向がある。優先対象は主要道路、観光振興、地域活性化

化、オリンピック・パラリンピック関係、そしてバリアフリーの全キーワードに該当する箇所。このチャンスに推進場所を絞って国に要望しては。

町長 葉山町が無電柱化に対して積極的に取り組んでいることから、県の方からも情報が寄せられている状況。優先対象が国・県道の災害時主要道路などハードルがあるが、積極的に依頼し続けると共に、必要があれば町道の整備も辞さない構えで臨む。

町内会の運営

問 町内会運営について、都市化の進行が原因で、一部地域では成り手不足により、継続困難になりつつあ

る。協働を掲げ、高齢者ケアや防災等、町内会依存が高くなってきているが対策は。

部長 転入者に対して加入促進チラシを役場窓口や不動産業者にも依頼して配布し、加入を促すなど、解決に向けた取り組みを少しずつ進めている。



森戸海岸沿いの飛砂被害

土佐洋子
町長 災害に強いまちづくりとは
防災体制の充実に向け着実に実施



災害に強いまちづくり

問 町と京急バスとの合同津波訓練に参加した感想は。

部長 車椅子や視覚、手足が不自由な方を高台に避難してもらおうのが難しい。災害が発生した場合、どこにバスを停車させるかなど検証が必要。

問 NET119とは。

消防長 聴覚や言語に障害のある方がスムーズに119番通報をするためのツール。Web119からのバージョンアップ。

テムを構築している。

問 以前質問した、乳児用液体ミルクについて夏にも解禁される見通しだが、町でも備蓄できるか。

部長 備蓄を検討する。

問 防砂対策は。

部長 県がきつちりと対処していない。防砂葦簀の図面を再度確認させる。

問 生涯スポーツ活動の推進

部長 生涯スポーツ活動のための環境整備が整っているとは言えないが。

部長 スポーツ施設が不足していると認識してお

り、町民からの要望があることも承知している。

問 ヨット乗船体験協力団体に助成金があることを葉山マリーナ、葉山新港、関東学生ヨット連盟などに周知してみては。

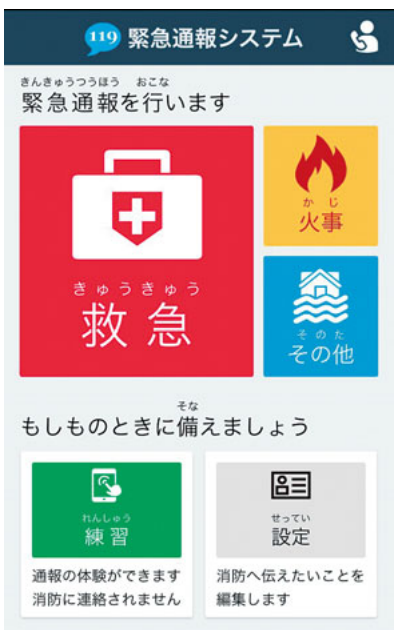
部長 広報活動を進める。

町有地などの利活用

問 町有地をPFIなどで利活用できないか。

町長 まずは公共施設の長寿命化を図ること、そして統廃合による新規の建てかえを、PFIや民間活用で行う方法がある。

NET119緊急通報システム



NET119緊急通報システム

鈴木道子
町長 「ぽけっと」と連携し切れ目のない支援をする
日本版「ネウボラ」への準備は



子育て支援

問 切れ目のない子育て支援、日本版「ネウボラ」子育て世帯包括支援センター開設への準備事業は。

町長 産後の全戸訪問や「ぽけっと」と連携し切れ目のない支援をしている。

部長 新たに「ぽけっと」にカウンセラーのような専門職を配置する。

町民の命を守る体制

問 AED設置の状況は。

町長 34施設に設置し町ホームページに掲載している。他の民間施設設置場所も日本救急医療財団が公開している。

問 24時間いつでも使える状況と表示、また周知も十分にすべきだが。

町長 自転車保険はPTAを通じて



南郷公園で遊ぶ母子

部長 表示の仕方が課題と認識している。管理がそれぞれ異なっていて、リース契約に伴う設置で業者とも協議をし、仕組みを検討する。

自転車走行の安全策

問 自転車走行の安全策について、過去神戸地裁が対人事故に9500万円

の損害賠償支払いを命じた件があった。自転車の乗り方の教育や自転車保険の加入等安全面の対策が必要だがどうか。

部長 長柄小学校は交通安全教育を行っている。他の小学校は毎年自転車安全教育を、南郷中学校は自転車通学生に安全教室を行っている。

案内があった。

通学路の安全策

問 長柄の通称「シンデレラ階段」等の危険箇所への防犯カメラ設置を。

部長 申し出により補助金の交付設置が可能だ。

胃がんリスク検診

問 胃がんリスク検診の対象拡大は。

町長 県主導で調査中なので状況の確認をする。

待寺真司
町長 高齢者の足を確保してから啓発を
指摘の点はよくわかる



運転免許返納

問 運転免許返納を啓発するとあるが、具体的に何を行うのか。

町長 声かけや呼びかけを行っているが、高齢者の老化防止に向け、外出を促進するため、70歳以上の町民を対象に「京急ふれあいパス」への一部補助を行い支援していく。

問 高齢者の足をしっかりと確保してから啓発を進めるべきだ。やはりミニバスやコミュニティバスを導入すべきだが。

町長 指摘の点はよくわかるが、現行路線の改善やアンケート調査などステップを踏んで、京急バスとの協力の中でやれる

ことから取り組んでいく。

民泊の推進

問 民泊の推進とあるが、どのように進めるのか。

町長 トラブルが予想されるごみの出し方など、事業者への説明会開催や協議を継続的に進め、葉山の住環境を守りつつ良質な民泊を推進していく。

問 新規保育園設置とあるが、平成30年度に新設の見込みはあるのか。

町長 平成30年度の待機児童は40人台となる見込みで、喫緊の課題と認識している。開設の相談はあるが事業化に結びつかない。

引き続き必要な支援を模索し、積極的に協議し、解消に努めていく。

クリーンセンター

問 クリーンセンターのサービスセンター化とあるが、具体策はあるのか。

町長 福祉分野とは別に、振り込め詐欺防止のステッカーを収集車に貼ったり、スピーカーで音声流すなど、町民が安全安心に暮らせる町を目指したサービスを提供する。



金沢市民の足として大活躍

笠原俊一
町長 葉山のおもてなしとは
葉山の魅力の発信だ



葉山流のおもてなし

問 施政方針で示された葉山流のおもてなしとは、突き詰めると国内外に向けた葉山のイメージ戦略と考えるとよいのか。

町長 2020年のオリンピックに向けた町の応援姿勢が、国内外に向けた葉山の新しい魅力の発信となる。町の環境や景観など素晴らしい町として宣伝活動につながるの思いから、おもてなしの心を記載した。また、29年度に英国チームを受け入れ、さまざまな対応についての要望があることも学んだ。

問 過去に国体準備室を設けたが、今後の課題の

町長 解決や情報収集に向けた部署を設置してはどうか。という事か。30年度は事業指針がない

町長 現状では、特に政策課と生涯学習課が主体での連携から、対応できるところでは今は思っている。一緒に出そうと考え遅れた。現状、中期財政計画の最終的な詰めを行っている。今後は、なるべく早い時期の提出を心がける。

問 町長の目指す当町のイメージ戦略やPR活動を積極的に進めるために、警察や商工会などの団体と連携や人員強化が必要ではないか。

町長 政策課や体育協会関係につながる生涯学習課、連絡した体制を取るうえで人手不足の要求があれば、強化に向けた対応を図る。

事業の指針

問 総合計画の実施計画が示されず、事業計画の進行管理と矛盾するが、



英国チームへのおもてなし

近藤昇一
長柄交差点右折信号の設置は
都市経済部長 所轄の警察にさらに要望する



長柄地域の諸問題

問 長柄交差点の右折信号設置の可能性は。

部長 難しいと思う。定すべきでは。にもなるが。

問 長柄交差点の右折信号と横断歩道が要望されている。進捗状況は。

部長 逗葉新道から県道になる際、信号機をつけることは協議済み。継続的に要望したい。

問 長柄地域に子ども遊ぶ公園がないが。

問 長柄交差点の横断歩道を口の字型にしては。

部長 県も歩道橋を廃止しスクランブルにする。車の渋滞が伸びるので、総合的に理解が得られればその方向で進む。

問 長柄交差点から南郷交差点に向かって右側の歩道設置について進捗状況は。

部長 一般県道になる際に、1mの歩道を要望したが、3mないと補助金が付かないと難色を示された。

問 南郷歩道橋の防風板が破損して何年

問 町内の交通計画を策

問 町内の交通計画を策



長柄交差点

横山すみ子
町長 学校トイレ改修を急いで
 早期に順番づけし対応を図る



学校トイレの改修

問 民生委員児童委員協議会の学校訪問報告書や教職員組合からの要求書で、小中学校のトイレの早期の修繕・改修が必要と指摘されている。教育委員会の取り組みを伺う。

部長 29年度からトイレ整備計画を策定中。一般的に夏休みに1校ずつという形かと思う。

問 1校ずつ改修など言わず、全校早急に取り組むべき。町長の考えは。

町長 すでに改修している学校もあるが、トイレそのものは私の承知していないところもある。なるべく早期に順番づけし、対応を図る。

公共施設等総合管理計画

問 公共施設等総合管理計画は、平成60年度までの長期計画であり、老朽化が進む施設の予防的な修繕計画が重要である。修繕計画の立て方を伺う。

部長 老朽化が進む施設は、予防保全的計画を持って対応を図らなければいけないという認識は十分持っている。大規模修繕は、この実施計画で対応する。

問 予防的修繕は、だれが修繕について調査し、方針を決めるのか。

部長 担当課から執行委任を受けて全体的に管理している公共施設

問 課が中心に、この修繕計画も対応を図る。

問 事後修繕は担当課が行うとしても、予防保全は一括管理すべき。修繕の調査をする専門職員は各部に配置されているか。

部長 技術者のいる課もあるが、全体的な管理は、公共施設課と認識している。



故障中のトイレ換気扇

畑中由喜子
町長 「ペットと共生するまち」を町のブランドに
 町の実態を発信していきたい



ペットと共生

問 「ペットと共生するまち」は、すごいブランドだと思う。町の売り文句にしたらいいのでは。

町長 ペットと共生ができるまちというのは、ほかの自治体でもあまり聞いたことがない。この実態を発信したいと常々考えるが、行政はマナーの向上にどうしても力が行き、なかなかいいアイデアが浮かばない。皆さまざまから、アイデアをいただきたい。宿題として、何か町の発信の一助になるように考えていきたい。

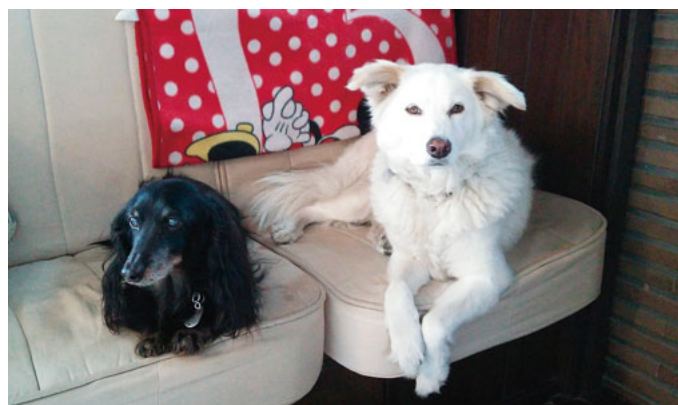
魅力創生・発信事業

問 東京オリンピックを

見据えて、6月には新たに住宅宿泊事業法が施行され、本格的な民泊時代が始まりそうだ。しかし、現状を見ると、どこまで規制が届くのか不安を感じる。町ではこれからできるだけ多くの来訪者を迎えたいとしているが、どのような対策がとれるのか。

町長 この法では知事に立ち入り調査権や民泊の期間などを制限する権限を与えている一方、町として独自に規制することは法令上不可能となっている。そこで町は権限を持つ県と協力的体制を築くとともに、民泊を運営する管理業者な

どに、トラブルが予想されるごみの出し方等の説明会を行う予定だ。こうに行うことにより、さまざまな問題を共有、解決することで、葉山の住環境を守りつつ、良質な民泊を推進していくこととする。



ペットと共生

石岡実成
東京五輪に向けた気運アップの提案を
町長 リーダーシップをとって進める



学校教育

問 小学校、中学校からの主権者意識の醸成が必ず必要では。

答 小学校、中学校から低年齢段階からより着実に身につける施策を実施していきたい。

景観計画

問 色彩ガイドラインを作っているガイドラインを作っていく。

答 色彩ガイドラインを作っているかどうか。強制力とはいかないまでも、守っていただく。

問 オリンピックに向けたPR 2020年東京オリンピックの気運アップやグローバル化に向けて「ヨット乗船体験にかわるオープン型イベントの実施」「全町的に視覚効果がある仕掛けづくり」「実際に体感できる企画とその橋渡し」という3つの柱を提案するがどうか。

答 2020年から導入される小学校でのプログラミング教育の対策は。

部長 取り入れる教科や時間、方法など、魅力あるカリキュラムづくりを進めていく。

町の広報・PR

問 広報とPRとの違いをしっかりと認識し「町民との良い関係づくり」にこだわって情報発信をしてもらいたい。

答 もう少し発信

を進めていきたい。



東京五輪の気運アップ

山田由美
下山口町道のガードレール補修は
都市経済部長 危険性あれば考える



下山口町道

問 下山口水源付近の町道で、片側が斜面なのに、ガードレールやフェンスが途切れている箇所がある。転落の心配があるが、補修の計画は。

答 危険性のある場所なら、設置を考える。

森戸川擁壁

問 長柄交差点付近の森戸川擁壁で、亀裂が入っている箇所を、29年9月に県土木に補修してもらった。地盤沈下のためと思われるので、町でも気にかけてほしい。

答 変調を知らせてもらえれば、県に連絡する。

土地の寄贈

問 高齢化に伴い、失火

による火災が増える傾向にある。延焼を防ぐため、市街地に緑地を確保することが重要だ。町民の皆さまに、土地の寄贈や遺贈を呼びかけてはどうか。

問 町は横須賀検察審査会に補助金を出しているが、切り出し方が難しいが、検討はしてみたい。

答 町は横須賀検察審査会に補助金を出しているが、ここは単なるPR機能だ。本体である検察審査会に対しては「陸山会事件」等で、さまざまな疑問の声が上がっている。この補助金を見直す考えは。

補助金見直し

問 町内のスーパースペースが走らせている無料送迎車に町が補助金を出して、停車場増加や、運行時間延長をお願いできないか。

答 効果が限定的なので、難しい。

コミュニティバス

問 町内のスーパースペースが走らせている無料送迎車に町が補助金を出して、停車場増加や、運行時間延長をお願いできないか。

答 効果が限定的なので、難しい。



下山口町道脇の斜面

金崎ひさ 町長 有料化はしない ごみ行政の将来像は



葉山のごみ行政

問 町長の目指すごみ行政の将来像を伺う。

町長 将来的には三浦半島圏での共存共栄できる処理が一番良いと思う。葉山町は有料化しない。

問 逗子市とのごみ処理広域化地域計画では、葉山町は生ごみ資源化施設を受け持つこととなった。その経緯を伺う。

町長 生ごみの自家処理を勧めている最中に矛盾を感じるが、焼却炉を壊す手段として一番良い選択肢であると思う。

問 解体はいつの予定か。

部長 33〜34年度だ。
問 生ごみの分別収集の予定は。



逗子市の有料ごみ袋

部長 モデル地区を選定した後、全町に広げる。

問 生ごみ分別による手間、臭いなど十分な配慮が必要だ。有料袋製作など考えていないと思うが。

町長 町民にこれ以上の負担はかけたくない。

問 学校給食の生ごみ処理の現状は。

部長 上山口小学校以外は処理機を使用している。

問 逗子市は廃プラを燃している。葉山町も分別を止め、燃やすごみの中に

に入れてはいかがか。

部長 鎌倉市が廃プラをリサイクルしているので、29年度末の2市1町の広域連携協議会で議論する。

問 技術者の採用とは。

町長 廃炉を経験した方を期間限定で募集する。

問 高齢化等で資源ステーションへの搬出ができないとの苦情がある。全てを戸別収集する考えは。

部長 限りある職員体制で早急な変更は難しい。今後の課題と捉えている。

窪田美樹 町長 妊婦健診補助の拡充は 近隣の状態を見極め見直しを図る



妊婦健康診査

問 妊婦健診補助は葉山町5万1千円、横須賀市6万8500円、鎌倉市7万5千円、逗子市6万1千円だ。補助拡充を。

町長 近隣の状態を見極めながら見直しを図る。

問 放課後児童健全化育成事業

問 民間学童クラブの利用者に対し、所得を考慮して利用料補助の考えは。

町長 今は、施設を選択できる取り組みを行う。

学校給食基本構想

問 給食センター整備予算が認められず、再考には外部の力を借りるべき。

教育長 方法を研究したい。性急に代替地をというものでもない。

就学援助事業

問 全国の36%が、就学援助入学準備金の小学校入学前支給を実施している。要綱変更で可能では。

教育長 小学生も負担は生じ課題克服を研究する。

問 子どもたちが長い時間を過ごす学校と、福祉文化会館・庁舎等の公共施設の管理計画は別にし、修繕等対応すべきでは。

町長 長時間過ごすのと不特定多数が出入りするのと考え方は違うところもあるが、どちらが大事という考え方は持つべきではない。

問 文科省より学校施設の長寿命化計画策定が求められている

のでは。

部長 策定の手引きは承知しているが、特に教育施設は規模も大きく、多額な経費が見込まれ個別計画は難しいと考える。

問 だからこそ別立てが必要では。秦野市では予算で対応しているが。

部長 精査し、別計画が必要かどうか考える。その他の質問 高齢者福祉の充実



こんにちは 赤ちゃん

町民との会議

「ごみ行政」について

3月25日、教育総合センターにて、ワールドカフェ方式[※]で、12人の町民の皆さまから、多くのご意見をいただきました。

※ワールドカフェとは、参加者が複数のテーブルに分かれ、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、気楽に対話できる手法のことです。参加者全員からご意見を伺うため、今回初めて実行しました。



①ごみ処理広域化について

- 逗子との分担は、公平なのか。
- 分別方法は、逗子に合わせるのか。
- 逗子との協定で不都合

が生じたら、葉山はノーと言えるのか。

- ごみの行方を図式にして、町民に示してほしい。
- 全体像がわかると、自分が協力できることがわかりやすい。
- 交付金がもらえること、スケールメリットがあることから、広域化には賛成する。
- 植木剪定枝の量が心配だ。

②クリーンセンターの今後について

- 同じ場所での業務継続には反対する。学校や住宅地が近いため。
- 地域住民の理解が、まだ得られていないのでは。
- 収集車の行き来が増えると、悪臭や渋滞が心配だ。
- ダイオキシシンや重金属等への対処に、大きな経費がかかるのではないか。

③分別・収集・出し方について

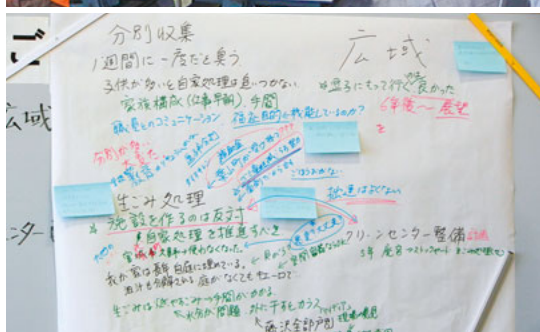
- 分別が難しく、間違える人も多い。
- 可燃ごみに、ミックスパーパーが混じっていることが多い。
- 資源ステーションの管理が大変だ。風のある日は、設置したネットが飛んでしまうこともある。
- 藤沢市は全て戸別収集だ。見習うべきだ。
- ごみの減量に向け、積極的な広報をするべきだ。
- ごみ減量に対する「ご褒美」がない。

④生ごみ処理について

- 自家処理が基本なのに、新たな施設を作るのは、これまでの方針に逆行するのではないか。
- 家族が多いと、キエーロでの自家処理が追いつかない。

⑤その他

- ごみ量の推移や経費等、数字の入った資料が欲しかった。



これらのご意見を参考にして、議会としても対応してまいります。詳細は、議会ホームページをご覧ください。

- 町内の川が汚い。雑草や、ごみの投げ捨て等が目につく。
- 町内会に入っていないと情報が届きにくい。
- 学校での「ごみ教育」が必要だ。

次回

議会報告会のご案内

■テーマ
平成30年度予算について

開催日 平成30年5月20日(日)

時間 14:00~15:30

会場 教育総合センター研修室

※事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。役場駐車場をご利用いただけます。





表紙説明

3月24日、葉山にこにこ保育園から、18人の園児が6年間の「昼間のおうち」を巣立ちました。恒例の歌舞伎一八番「外郎売」は早口言葉も多く長い口上ですが、全員がひとつになり、最後は決めポーズでしめくられました。



議会交際費支出状況

(平成29年10月～平成30年3月)

(詳しくは議会ホームページをご覧ください)

種別	件数	金額(円)
慶祝金	2	10,000
弔慰金	4	42,000
見舞金	0	0
会費	11	80,000
接遇費	3	28,392
その他	5	43,956
合計	25	204,348

人事異動

新議会事務局主任



保永 優香
(前政策課主事)
よろしく申し上げます

前議会事務局主任



佐々木 周子
(新町民健康課主任)
お世話になりました

編集後記

散りゆく桜の花びらたちの先には、今にも咲き誇りそうな色鮮やかな、つつじの蕾がたくさん見えます。そして真新しい制服に身を包んで、役場前の坂を上っていく葉山中学の新生たちの姿が。中学校の完全給食実施関連予算が提出されましたが、再度適地の調査や説明を十分に行い、多くの理解を得てから、給食

町長行政報告

●1月23日に草津町の本白根山で噴火があり、葉山町民スキー学校を中止としましたが、有志の方を含め44人で2月1日から2日まで慰問しました。
町として1泊1千円の草津町宿泊助成を大人3千円、小人150

0円とし、30年3月1日より31年3月31日まで行ないます。ぜひ草津町を訪れていただきたいと思えます。

●葉山町を被告とする訴状が町民から裁判所に提出されました。町として、原告の主張には理由がないことから、応訴することとしました。

平成30年第2回定例会は
6月5日(火)
からの予定です。

皆さまの傍聴をお待ちしています。

センター化事業を進めるべきと、再考する道を選択しました。「最小の費用で最大の効果」を生み出すことが肝要です。中学生が給食を楽しむ時期は少し遅れますが、子どもたちの未来に禍根を残さないように、議会としてもさまざまな手立てを考えていく所存です。
4月5日記 待寺真司

議長 伊東 圭介

金崎 ひさ 山田 由美
飯山 直樹 窪田 美樹
待寺 真司 笠原 俊一
土佐 洋子